学校番号	3035

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「新詳 地理探究」（帝国書院）　詳解現代地図（二宮書店）						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE2025」　（帝国書院） ｳｨﾆﾝｸﾞｺﾝﾊﾟｽ地理の整理と演習 2025（とうほう）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・世界の広さと狭さ、個別性と類似性を感じる。
・空間軸と時間軸の両方から現代世界の諸地域の特色を考察する。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
現代世界の地理的認識を養うとともに地理的な知識や技能を培う。
【思考力、判断、表現力等】
現代世界の地理的事象や諸地域を、歴史的背景を考慮し多面的・多角的に考察、判断し、表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
国際社会の地理的課題について、主体的に解決に取り組む態度を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理的諸事象や地域性、現代的諸課題の分析・考察に必要とされる基礎的知識（用語・地名など）や基本的概念（空間・環境・地域）を身につけている。また、地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本概念、地理的見方・考え方を身につける。	地図化された事象を他の地理的諸事象との関わりから分析・考察解釈し、地理的概念や規則性を見出すことが出来る。また、そこから現代世界の諸課題を見つけることが出来る。そして、その課題の背景・要因・解決策を多方面から追求し、よりよい社会のあり方を環境・人権・平和の観点から提言することが出来る。	地理的諸事象、現代的諸課題に興味・関心を抱き、それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ、結びつけることが出来る。また、地理学習で得た知識・技能・態度を現代的諸課題の解決に生かすことが出来る。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期		単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1部　現代世界の系統地理的考察	第1章　自然環境	1節　地形	a：地形，気候，生態系などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：地形，気候，生態系などに関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	授業 プリント 課題 プリント
			2節　気候				
			3節　日本の自然環境				
			4節　地球環境問題				
		第2章　資源と産業	1節　農林水産業	a：資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
			2節　食糧問題				
			3節　エネルギー・鉱産資源				
			4節　資源・エネルギー問題				

			5節　工業				
			6節　第3次産業				
		第3章　交通・通信と観光、貿易	1節　交通･通信	a：交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信，観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：交通・通信，観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
			2節　観光				
			3節　貿易と経済圏				
		第4章　人口、村落・都市	1節　人口	a:人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 C:人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
			2節　人口問題				
			3節　村落と都市				
			4節　都市･居住問題				

		第5章　生活文化、民族・宗教	1節　衣食住 2節　民族･宗教と民族問題 3節　国家の領域と領土問題 ①現代世界と国家 ②領土問題と解決への取り組み ③日本の領域と領土をめぐる問題	a:生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:生活文化，民族･宗教について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
後期	第2部　現代世界の地誌的考察	第1章　現代世界の地域区分	1節　地域区分	a:　世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに，世界をいくつかの地域に区分する方法や地域の概念，地域区分の意義などについて理解している。 世界や世界の諸地域について，各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につけている。 b:　世界や世界の諸地域の地域区分について，地域の共通点や差異，分布などに着目して，主題を設定し，地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:　現代世界の地域区分について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	授業 プリント 課題 プリント

		第2章　現代世界の諸地域	1節　中国	a：いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 b：現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
			2節　韓国				
			3節　ASEAN 諸国				
			4節　インド				
			5節　西アジアと中央アジア				
			6節　北アフリカとサハラ以南アフリカ				
			7節　EU 諸国				
			8節　ロシア				
			9節　アメリカ合衆国				
			10 節　ラテンアメリカ				
			11 節　オーストラリアとニュージーランド				

	第3部現代世界のおけるこれからの日本国土像	第1章　持続可能な国土像の探究	1節　将来の国土のあり方	a：現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や，探究する手法などについて理解している。 b：現代世界におけるこれからの日本の国土像について，地域の結びつき，構造や変容，持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し，表現している。 c：持続可能な国土像の探究について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。			
			2 節　持続可能な日本の国土像の探究				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度